

＜視点1＞【安全・安心の保障】												
具体的な取組		アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析		改善策・最終評価での目標数値		
◇いじめ・不登校への取組推進 ・未然防止(居場所づくり・絆づくり)の取組推進 ・アンケート調査の計画的実施 ・児童理解の会での情報共有と共通行動 ・いじめ対策チームの日常化 ・迅速かつ組織的な初期対応 ◇安全教育の推進 ・心のケアの計画的な実施 ・SCとの連携・効果的な活用 ・登下校時の安全指導及び危機の予測と回避 ・計画的かつ実体験を伴う避難訓練の実施 ・危機管理マニュアルの充実 ・食物アレルギーへの適切な対応		児童	学校は楽しい。	100%	➡	a	4	A ↓ A	○児童の項目は、どれも肯定的な回答が高い。 △強肯定の回答割合が下がっている項目が多い。 →職員の勤務状況(欠員)が大きく関わっている と考える。児童の思いに寄り添った指導が十分で きていないのではないかな。	【目標数値】 保護者「お子さんは、「楽しそうに学校に行っている」 と思う。」A評価100%】 ❖少人数であるがゆえに、固定化された人間関係の 中で、児童が悩んだり思ったとおりにできなかったり している可能性がある。そこで、『楽しい学校づくり』 を児童・職員の合言葉として、個々がアイデアを出 し合っているいろいろな具体的取組をすすめる。 課題① 楽しい学校づくり【全職員・児童】 →・様々な活動を楽しむ工夫		
		保護者	お子さんは、「楽しそうに学校に行っている」と 思いますか。	82%	↓	b	3					
		児童	困っている友だちがいたら、助けてあげようとし ている。	100%	↑	a	4					
		児童	自分にはよいところがある。	91%	➡	a	4					
		保護者	学校は、親切・思いやりの心を育てようとしてい ると思いますか。	91%	➡	a	4					
		児童	学校のきまりを守って、生活している。	100%	↑	a	4					
		教員	児童が学校のきまりを守り、安全に生活できるよ う指導してい	100%	➡	a	4					
		児童	みんなで協力して取り組み、うれしかったことが ある。	100%	➡	a	4					
		保護者	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでい ると思いますか。	91%	➡	a	4					
			先生は、子ども達のことをよく理解しようとして いると思いますか。	91%	➡	a	4					
		教員	児童同士のよりよい人間関係づくり(いじめ・不 登校の未然防止)に努めている。	100%	➡	a	4					
			児童の心のケアを最優先に、小さな変化に気づ いたときはすぐ行動している。	100%	➡	a	4					
		保護者	学校は、児童の安全を守るために努力している と思いますか。	100%	➡	a	4					
		教員	定期的に危機管理マニュアルを確認して行動して いる。	100%	➡	b	3					

3.9

＜視点2＞【学力の保障】												
具体的な取組		アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析		改善策・最終評価での目標数値		
◇学習に向かう基本の定着 ・授業のルールの定着(学習用具・挨拶・着ベル等) ・基盤づくりの取組(返事・挙手・反応・話し合い) ◇対話的で深い学びへの授業改善 ・学習量のあるテンポのよい授業実践 ・正しい表現力をつけるための授業改善 ・適切な発問・指示 ・話し合い活動の工夫 ・外部講師を招いての研修 ◇ICT機器の活用 ・積極的な一人一台端末の使用 ・ICT機器の効果的・効率的な活用 ◇学習習慣づくり ・家庭学習・生活リズムの取組 ・自学学習の奨励 ・補充学習等個別指導の充実	児童	授業の内容はよくわかる。	100%	➡	a	4	A ↓ A	○学習基盤、授業改善に関しては、肯定的な割合は高い。 →職員の欠員に対し全校で対応することができた。 △保護者の「お子さんは授業の内容がよくわかると感じているか」と児童の「授業の内容は、よくわかる」の結果にずれがある。 →家庭学習の取組が肯定的でない児童の保護者による回答であり、授業と家庭学習の関連からの結果であると考えられる。そこで、回答のずれを確認し、具体的な対応をすすめる。また、個別対応を進める。 ○全体的には、高い割合を維持している。 →職員の欠員に対し全校で対応することができた。 △「家庭学習の時間を守れていない」という児童の回答と「家庭学習に取り組む姿勢が十分ではない」と感じる保護者の回答が一致しており、前回からの学習習慣を十分に維持できていない。 →家庭学習の取組を事前に周知することや児童の取組意識を高める取組が十分ではなかった。 △ 3項目の内、2項目が1名程度下がっている。 →「家庭のルール」の取組と学校の取組の連携が十分ではなかったのではないかな。保護者と連携し「わがやのルール」について見直し、取組をすすめる。	【目標数値】 児童:「毎日、家庭学習の時間を守って取り組んでいる。」100% 保護者:「お子さんが家庭学習に取り組む姿は、十分だと感じていますか。」100% 🔴学期初めに家庭学習の意義を再度児童に周知するとともに、家庭学習週間に合わせて、家庭のルールの見直しと取組への意識の向上を図る。 課題② 家庭学習の改善【濱野】 →・家庭学習の意義の確認 ・日々の家庭学習への具体的指導			
		失敗してもあきらめずに、取り組もうとしている。	100%	⬆	a	4						
	保護者	お子さんは、授業(勉強)の内容がよくわかると感じていますか。	91%	➡	a	4						
	教員	個々の習熟の状況に応じて、補充的・発展的な指導を行っている。	100%	➡	a	4						
		多様な考えに出会わせるために、積極的に交流(集合)学習を行っている。	100%	➡	a	4						
	児童	授業では、話し合うことで、よく分かるようになる。	100%	➡	a	4						
	教員	児童が自らの考えを表現する授業への改善をすすめている。	100%	➡	a	4						
	児童	毎日、家庭学習の目標時間を守って取り組んでいる。 (1・2年 30分、3・4年 45分、5・6年 60分)	82%	➡	b	3						
	保護者	お子さんは、すすんで学習に取り組んでいますか。	100%	➡	a	4						
	保護者	お子さんが家庭学習に取り組む姿は、十分だと感じていますか。	82%	➡	b	3						
	教員	家庭学習の量や質が改善するように指導している。	100%	➡	a	4						
	児童	規則正しく生活している。 (起きる・ご飯を食べる・寝る時刻を守っている。)	100%	➡	a	4						
	保護者	お子さんは、早寝・早起きをしていますか。	73%	➡	c	2						
	教員	規則正しい生活となるよう指導している。 (起床・食事・就寝の時刻)	100%	➡	a	4						
	児童	家で、インターネットは1日にどれくらい使っていますか。 (A:30分未満 B:30分～1時間未満 C:1時間～2時間未満 D:2時間以上)	45%	➡	d	1						
	保護者	お子さんは、インターネットの使用についての「家庭のルール」を守っていますか。	91%	➡	a	4						
	教員	ネット利用のきまりの必要性や守ることの大切さを指導している。	100%	➡	a	4						

3.6

<視点3>【成長の保障】

具体的な取組	アンケート結果						自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
◇ 体力・運動能力の向上 ・体力アップ1校1プランの推進 ・スポチャレいしかわの取組推進 ◇ キャリア教育の充実 ・将来の夢や希望を語る活動 ・働くことの喜びを知る活動 ◇ 認め合える集団づくりの取組 ・道徳教育及び個に応じた特別支援体制の充実 ・主体的な児童会活動の取組 ・縦割り班活動の充実 ◇ 読書活動の推進 ・家庭読書活動の推進 ・読書ボランティアとの連携 ◇ SDGsの視点での体験学習の充実 ・地域の人・もの・ことを学ぶ(本物に触れる)機会の充実 ・まちの先生の活用	児童	自分には夢がある。	100%	↑	a	4	A ↓ A	○夢に関して、児童・保護者、教員全てにおいて、強肯定だった。 →一貫したスローガンにより取組は浸透し、今学期も、日々の学習や150周年式典において、児童が自らの夢について具体的に発信する機会を作った。保護者も夢について見聞きし、その成果を実感している。 ○挨拶に関して、児童・保護者ともに評価が高い。 →挨拶の意義について継続的に伝えてきた成果であり、今後も同様の取組を継続する。 △児童「先生はがんばりをほめたり、認めたりしている」に関して、ほとんどの児童が肯定的であるが、減少している。 →児童が自分のがんばりを実感できるよう、教員が児童をどう褒めるかを工夫しすすめる必要がある。 ○地域や他校との交流学习の機会が多くも設けられ、児童・保護者ともに、成果を感じている。 △児童「地域のことについて、いろいろなことを学んでいる」に関して、減少した。 →「地域学習」の充実をすすめるとともに、じっくり振り返らせることで、自分の学びを実感させる。	目標数値:児童「先生はがんばったことをほめたり、認めたりしてくれるか。」100%】 ・将来の夢や希望を語る活動等キャリア教育の充実に向けた取組を継続してすすめ、その夢や希望について価値づける言葉がけを行う。 ・教員が学習、生活において児童のがんばりを見取り、学級や全体の場で、具体的に児童を褒める。教員全体で児童の小さな成長を共有し、児童に伝える。 課題③ ほめる・認める指導【田保】 →・夢や希望への価値づけ ・全職員での取組の推進
	保護者	お子さんには、夢がありますか。	100%	↑	a	4			
	教員	将来の夢や希望を語る活動に取り組んでいる。	100%	→	a	4			
	児童	学校では、友だち同士でお互いのがんばりを認め合う場面がある。	100%	→	a	4			
		先生はがんばったことをほめたり、認めたりしてくれる。	91%	↘	a	4			
	保護者	家族や地域の人に、自分からすすんであいさつをしている。	100%	→	a	4			
		お子さんは、すすんで挨拶ができていますか。	100%	↑	a	4			
	児童	地域のことについて、いろいろなことを学んでいる。	91%	↘	a	4			
	保護者	学校は、様々な交流活動にすすんで取り組んでいると思いますか。(①集会所での交流、②地域学習(地域の学びとの交流)、③他校との交流、④支援の方との交流)	100%	→	a	4			
	教員	まちの先生を積極的に活用している。	100%	→	a	4			

4.0

<視点4>【教職員にとって働きがいのある職場づくり】

具体的な取組	アンケート結果						自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
・個々のライフステージに合わせた受講の奨励 ・全職員での若手早期育成プログラムの計画的実践 ・業務改善の取組推進 定時退校日の実施・計画的な年休行使 一人一役での分掌・ワンペーパーでの起案 校務支援システムの活用	教員	本校の教育目標を具現化して、教育活動に取り組んでいる。	100%	→	a	4	B ↓ B	○上記2つの肯定的回答の割合が100%である。 →今年度、教育目標が刷新された。全職員で教育目標を共有し、その具現化に取り組んでいる。 △「午後6時00分を目安に退校」が75%である。 →一部教員の退校時刻が、遅くなっている。	【目標数値:教員「業務の効率化をすすめ、午後6時00分を目安に退校している。」100%】 ・校務には見通しをもって取り組めるように、早期の提案及び具体的な分担を行う。 ・定時退校日等の取組への共通実践をすすめる。 課題④ 業務改善【教頭】 →・早期提案及び分担 ・定時退校日等の共通実践
		教師としての力量が高まるように努めている。	100%	→	a	4			
		業務の効率化をすすめ、午後6時00分を目安に退校している。	75%	↑	c	2			

3.3

<視点5>【保護者・地域から信頼される学校づくり】

具体的な取組	アンケート結果						自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
・積極的な情報発信と開示による保護者との信頼関係の構築 ・コミュニティスクール制度を生かした「地域とともにある学校」への転換 ・公民館や地区行事と連動し、地域のよさを実感できる学習活動の企画と実施	保護者	学校は、保護者との連絡を密にしていると思いますか。	100%	→	a	4	A ↓ A	○全項目において肯定的な回答が100%となっている。 →学校ホームページを毎日更新したり、保護者連絡ツール(テトル)を活用したりして、積極的な情報発信ができています。今後も継続して取り組む。	
		学校からの各種便りやホームページでの情報発信は、十分ですか。	100%	→	a	4			
	教員	保護者・地域へ、積極的に情報発信を行っている。	100%	→	a	4			

4.0

《アンケート集計から自己評価までの流れ》

① アンケート結果から、それぞれの項目をa～dの4段階に評価する
「そう思う」+「だいたいそう思う」が90%以上 ⇒**a**
「そう思う」+「だいたいそう思う」が80%以上 ⇒**b**
「そう思う」+「だいたいそう思う」が70%以上 ⇒**c**
「そう思う」+「だいたいそう思う」が60%以上 ⇒**d**

③ 以下の基準で平均値から自己評価を行う
平均が3.6以上 ⇒**A**
平均が3.0～3.5 ⇒**B**
平均が2.4～2.9 ⇒**C**
平均が2.3未満 ⇒**D**

↑ 5%以上増えている
↑ 10%以上増えている

↓ 5%以上減っている
↓ 10%以上減っている

※令和6年度後期との比較

【保護者から】

・1学期ありがとうございました。担任の先生の体調も心配です。2学期からの6年生のことを想うと女子5人ということもあり心配な面もあります。先生方のサポート大変感謝しています。なんとか女性の先生がわずかでも来て下さったらいいなと願っています。(6年)